

経営比較分析表（令和5年度決算）

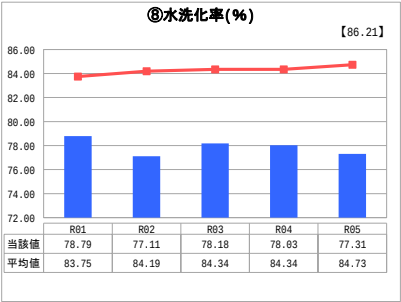
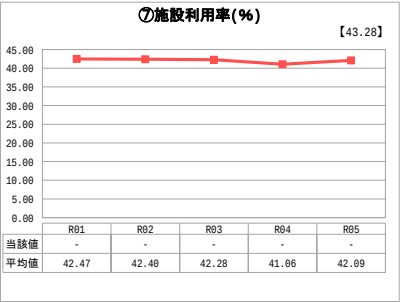
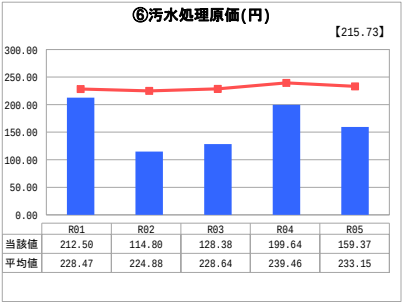
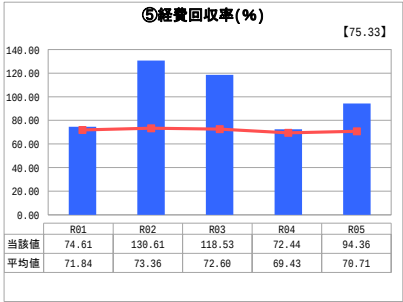
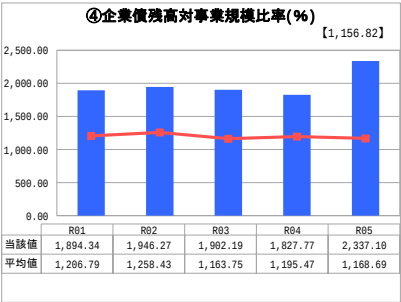
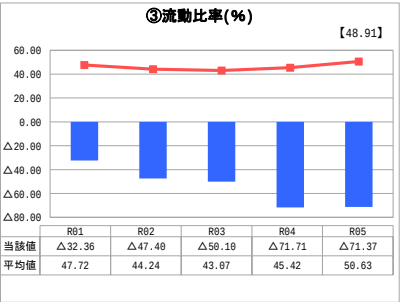
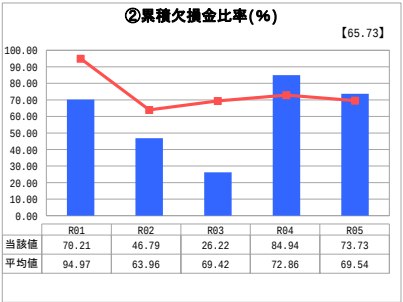
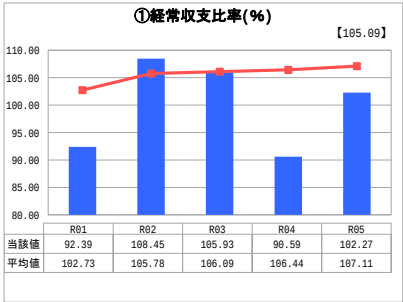
兵庫県 加古川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	42.53	2.67	85.93	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
258,691	138.48	1,868.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,887	1.44	4,782.64

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、②累積欠損金比率
経常収益が増加し、経常費用が減少したことから経常収支比率が改善した。累積欠損金比率については、当年度未処理欠損金が減少したことから改善した。

③流動比率
流動資産、流動費用ともに増加したため、本指標は横ばいとなった。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高に対する収益が少なく、全国平均・類似団体平均に比べ数値は高い(悪い)。令和5年度は、企業債残高が増加したこと等により増加(悪化)した。

⑤経費回収率、⑥汚水処理原価
汚水処理費の減少に加え有収水量が増加したことにより汚水処理原価が減少(改善)し、経費回収率も上昇(改善)した。

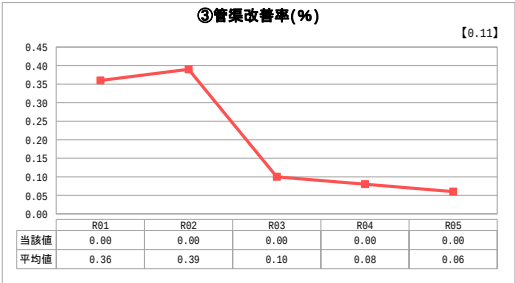
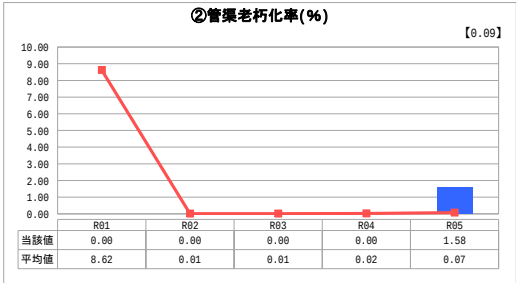
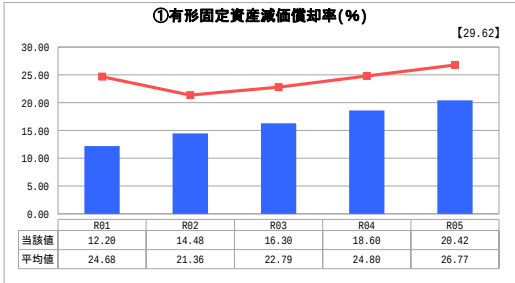
⑦施設利用率
終末処理場を保有しておらず、算出されない。

⑧水洗化率
概ね横ばいを維持している。引き続き水洗化助成金や下水道のメリットを広報し、早期接続を促していく。

2. 老朽化の状況について

本事業は平成6年度（1994年度）より建設事業を開始しており30年が経過しており、老朽化による影響を考慮すべき時期に差しかかっている。将来の更新・改築費用の平準化を図るべく適切な維持管理に努める。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業における処理区域内人口が少なく、費用や企業債残高に対する収益確保が厳しい環境である。経営指標の大幅な改善は今後も見込まれないが、水洗化率の向上により使用料収入を安定的に確保する等、収益確保に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。